

令和6年度 地域学校協働活動推進のための研修

令和6年6月6日(木)10:30~15:00 県総合社会教育センター 受講者39名

1 内容

【テーマ】「社会教育で、地域と学校の持続可能&幸せな未来をつくろう」

【講師】 岩手県生涯学習振興協会 事務局長 佐々木 勉 氏



【経歴】

2000年から2年間岩手県教育委員会事務局社会教育課 県北青少年の家 社会教育主事、2002年からの6年間は、岩手県立生涯学習推進センター 社会教育主事として務め、その後、花巻教育事務所、中部教育事務所の主任社会教育主事、そして、岩手県立生涯学習推進センター 生涯学習部長などを歴任し、長年にわたって社会教育に関わっている。2022年からは、紫波町教育委員会事務局学校教育課CSコーディネーター、2023年からは、紫波町教育委員会事務局生涯学習課 社会教育指導員も兼務し、また、2020年からは、社会教育主事講習B 演習講師としての活動もしており、2023年より、岩手県生涯学習振興協会 事務局長も務めている。

【講義要旨】

- 文部科学省は、社会教育の理念・学習手法による、学校を核とした持続可能&幸せな地域づくりを進めようとしています。
- 地域学校協働活動推進員に望まれる主な資質・能力は、コミュニケーション能力とファシリテート能力です。
- 熟議とは、多くの当事者による「熟慮」と「討議」を重ねながら政策を形成することです。熟議の最終目的は、当事者が納得をして自分の役割を果たすようになることです。
- 持続可能&幸せな地域づくりを進める地域学校協働活動は、「ゆったり、まったり、楽しく」、「成果があったらめっけものの気持ちで」「今あるたからものを大切に」、「地域の方や関係者の出番を多く」「1+1は太った1の観点」でやっていきましょう。
- 社会教育が、地域と学校の幸せをつくる基盤になります。私たちにできることをやっていきましょう。

2 受講者の感想

- ・熟議の不思議な力を体感しました。人が集まれば、いろんな知恵が出ることを改めて実感できました。
- ・推進員の方々、教育委員会の方々、県の方々、それぞれの立場で意見交換できたことが有意義でした。また、佐々木先生の実践・経験からのお話はもちろん、講義の雰囲気づくり、研修の進め方等、大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・アイスブレイクの要素を含めたメリハリのある研修の進め方は大変参考になりました。演習では、熟議の必要性を感じるとともに、ファシリテートとする難しさも改めて感じました。進行の仕方のポイントを意識しながら経験を積んでいきたいと思っています。